

報告日 令和5年8月25日
報告回次 2日目

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	稻沢市		代表者名	加藤 錠司郎
担当者部署	総合政策部		連絡先電話番号	0587-32-1142
担当者役職	主任	担当者氏名	高瀬 友宏	連絡先E-mail
住所	492-8269 愛知県稻沢市稻府町1番地			

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望								
支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。								
<table border="1"><tr><td>アドバイザー</td><td>浦田 真由</td></tr><tr><td>評価</td><td>大変よい</td></tr><tr><td>上記評価の理由（どのようによかったですか等詳細に）</td><td>本市のオープンデータを進めるに当たり、地域情報化アドバイザーの浦田先生から近隣市町の取組みの紹介や、進め方、問題点などの講義を受けたことにより、今後の市の取組みを推進するまでの疑問点を解消することが出来た。 また、自治体が公開したオープンデータの民間事業者の活用方法や、オープンデータを公開したことによる効果検証の方法などの職員からの質問に対し、多くのアドバイスもいただけた。</td></tr><tr><td>アドバイザーへの要望事項</td><td>特になし</td></tr></table>	アドバイザー	浦田 真由	評価	大変よい	上記評価の理由（どのようによかったですか等詳細に）	本市のオープンデータを進めるに当たり、地域情報化アドバイザーの浦田先生から近隣市町の取組みの紹介や、進め方、問題点などの講義を受けたことにより、今後の市の取組みを推進するまでの疑問点を解消することが出来た。 また、自治体が公開したオープンデータの民間事業者の活用方法や、オープンデータを公開したことによる効果検証の方法などの職員からの質問に対し、多くのアドバイスもいただけた。	アドバイザーへの要望事項	特になし
アドバイザー	浦田 真由							
評価	大変よい							
上記評価の理由（どのようによかったですか等詳細に）	本市のオープンデータを進めるに当たり、地域情報化アドバイザーの浦田先生から近隣市町の取組みの紹介や、進め方、問題点などの講義を受けたことにより、今後の市の取組みを推進するまでの疑問点を解消することが出来た。 また、自治体が公開したオープンデータの民間事業者の活用方法や、オープンデータを公開したことによる効果検証の方法などの職員からの質問に対し、多くのアドバイスもいただけた。							
アドバイザーへの要望事項	特になし							
3. 地域情報化アドバイザー派遣実績								

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年8月17日	講演(実地)	有	令和5年8月17日	828
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年8月22日	講演（実地）	13時30分	16時30分	10
				活動時間（分）	170
3-2. 派遣場所	会場名	稲沢市役所		最寄駅	名鉄国府宮駅
	所在地	愛知県稲沢市稻府町1番地		最寄駅からの交通手段	コミュニティバス

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	稲沢市職員	20人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	・本市のオープンデータ推進のため、利用者のニーズに即したオープンデータ化を積極的に進める必要がある。 ・データを保有する原課がオープンデータを作成する意義や必要性を理解していただく必要がある。 ・公開しているデータの多くがPDF等の機械判読に適した構造及びデータ形式でないため、利用者が利用しやすいデータ形式での公開を促進する必要がある。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	・職員に対し講演会を行うことで、オープンデータ化を進める意義、必要性についてを理解する。 ・講義を受けた職員が自治体標準フォーマットに準拠したオープンデータの作成を行う。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	市職員に対し、行政がオープンデータ化を進める意義や必要性、オープンデータ公開方法についての講演会を実施した。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	講演会内でオープンデータの活用事例や近隣市町の取り組みをご紹介いただいたことで、オープンデータの必要性や取り組みについて理解を深めることができ職員の意識醸成に繋がった。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。⑦その他 講演会の開催
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	講演会における機運醸成の目的は達成したが、今後は市職員が業務の一環としてオープンデータに取り組む必要がある。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙「オープンデータ推進講演会アンケート.pdf」添付
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい ⑤その他
事業の最終的な目指す姿	市ホームページ上にオープンデータライブラリを開設するとともに、各課職員がオープンデータについての意義を理解し、業務の一環としてオープンデータの作成に取り組む。

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



